REPORT

Q & A

EQ（イーキュー）のQ&A



株式会社ユニークプロダクツ

Q１．EQ は何を測る器械ですか？

EQ は地震の早期警報器です。震源地で発生する P 波(初期の微動：たて揺れ)をとらえて、直接、あなたのお宅へ警報を出します。P 波の後から S 波(大きな揺れ)が来ます。S 波が到着するまでのわずかな猶予(ゆうよ)が皆様の大事な命を守ります。

Q２．猶予の時間はどのくらいあるのですか？

P 波(初期微動)の速度は 7.5km に 1 秒、S 波よりも速い。震源が 75 km 先であれば 10 秒間先に P 波が到着します。150 km 先であれば 20 秒です。震源が遠ければ遠いほど猶予はあります。EQ の警報が鳴ったらまず室内の安全な場所へ避難をします。

大地震が来た時、2 秒の猶予では死者は 75%にも達するが、10 秒あれば死者は 10%にまで減ると言われます。命を守るために地震の早期警報はどうしても必要です。

Q３．気象庁の地震計などと同じものですか？

EQ は地震計ではありません。震源から発せられるナマの初期微動を直接伝える加速度計です。地震計は震源付近に設置されていて震源や地震規模や各地への S 波の到着時間などを計算する器械です。計算には時間を必要としますから、その分 EQ より警報か遅れます。

Q４．日本にこのような警報器がありましたか？

日本にはこれまでこのような地震警報器はありません。大地震から人の命を救うのは、ほんの 10 秒の猶予、3 秒～5 秒でも大きな助けになります。EQ はイスラエル製です。すでに米国、イスラエル、ヨーロッパ、中南米諸国で 10 万台以上販売されているものです。

Q５．EQ は一般家庭以外でも使えますか？

EQ は、使い方や避難方法などが日常的によく分かっている場所であれば、家庭以外でも役割を果たすことができます。幼稚園、ナース室、小さな事務所などの小規模施設にお勧めできます。不特定多数の人々が集まる映画館、劇場などは適切ではありません。

Q６．警報はどういう基準で鳴るのですか？

P 波 5mg（ミリジー＝震度２程度の初期微動）以上を EQ が感知すると赤いランプが点滅し、警報が鳴ります。5mg 以上は大きな地震の揺れが到着する可能性があります。5mg 以下では赤いランプが点滅するだけです。

Q７．警報の種類を具体的に知りたいのですが？

警報は 3 種類あります。

警報 A（危険予知）：赤いランプと警報音がする。しかし、揺れはまだない。これは；大きな地震（P 波 5mg 以上）が差し迫っていることを意味します。すぐに家族全員を集めて予め決めてある避難場所へ移動する。

警報 B（確認）：赤いランプと警報音がする。同時に小さな揺れがある。これは；あまり強くない地震(P 波 5mg 以下)が今来ているという確認です。大きな被害にはならないが、念のため物が倒れていないかなど身辺を警戒する。

警報 C（情報）：赤いランプのみ点滅する。揺れはない。これは；P 波 5mg 以下の小さな地震が来ているという情報。被害はない。（注意）警報がある時は常に警戒を怠らないこと。警報をあなどらない事。注意深さが命を救います。

Q８．EQ があると生活は変わりますが？

大地震が来る前に警報が鳴る、イザという時の備えができる、ということは震災への心構えを変えます（我が家の安全対策ができます）。もう「天災だから仕方がない」という時代ではない。EQ を生活に取り入れると命を守ることの大切さがよくわかります。

Q９．地震警報は EQ さえあれば充分ですか？

EQ は気象庁や政府や自治体の震災対策に取って代わるものではありません。避難や安全対策については、それらの機関の指示事項をよく理解し、従う必要があります。EQ の役割は数十秒前に大地震到着の警告第一報をお宅に直接お届けすることです。

Q１０．お宅の防災マニュアルはできていますか？

皆が避難できるお宅で一番安全な場所を決めておいて下さい。戸を開ける、火元を閉じるという手順もしっかりしておいて下さい。表への避難路、避難先も確認をしておいて下さい。緊急食品、懐中電灯、ラジオなどの備えは万全ですか。

Q１１．EQ の取り付け場所はどこですか？

部屋の内部の仕切ではなく外に面した壁面に取り付ける。エアコン、洗濯機、キッチンの電化製品の傍は避ける。振動を伝え易いので窓の周辺も避ける。低温や湿気や水気のある場所も不適切。室温は常に 0℃～60℃に保たれていること。

どうしても壁面に取り付けられない場合：水平な面で他の振動の影響を受けない静かな場所に置く事ができます。壁面に接して置き住友 3M の両面テープで固定して下さい。

Q１２．取り付けは簡単ですか？

取り付けは簡単。壁面に台座をネジでつける。電池(単４×４個)を入れスイッチ ON。底部の輸送用安全板を抜いて EQ を台座に載せてスライドさせる。リセットボタンを押せば通電、警告ボタンで警告音を確認します。アラームが鳴る。再びリセットボタンを押せばアラームは止まる。設置は完了です。

（注意）引き抜いた輸送用安全板は棄てて下さい。再挿入は絶対にしないで下さい。

Q１３．維持経費はかかりますか？

乾電池(単 4×4 個)が必要です。約 400 円程度です。それ以外に経費は掛かりません。乾電池の有効期間は 1 年です（**必ず１年で交換して下さい**）。**3 ヶ月に 1 回必ずテストをして下さい**。これは機器自体のテストにもなりますので必ず実行して下さい。大切な命を守るために必要なことです。

Q１４．長期不在の時はどうすればよいのですか？

長期に留守をされる場合には、OFF／ON スイッチを OFF にして下さい。ご帰宅後は再び ON にして、リセットボタンを押し、通電し警報ボタンを押して、警報音を確認して下さい。警報音はリセットボタンを押せば止まります。これで EQ は再び作動します。

Q１５．故障と思う前のチェックはどの様なことですか？

乾電池がうまく接続していない、乾電池の期限が切れている、取付けが不完全である、設置場所に異常な湿気や水気がある、極端な低温環境、エアコンなどの電気製品の傍にある、過剰な電波があるなどです。取扱説明書をよく読み、原因を確かめて修正して下さい。

Q１６．誤作動は起こりますか？

EQ に直接物をぶつけたり、手で動かしたり、ゆすったり、引きずったりすると誤作動(アラームが鳴る)が起こります。但し、建物外部の自動車、列車、ハンマー等による振動には反応しません。人為的に誤作動を起こさないよう注意して下さい。小さなお子様の遊びの道具に使われることは厳禁です。お子様にはよく言い聞かせて下さい。家族全員の命を救う警報器です。

万が一、誤作動を起こした場合：リセットボタンを押すと警報音は止まります。

Q１７．EQ についての問い合わせ先はどこですか？

電話サービスがあります。○○○－×××－△△△（沖縄県内）に電話して下さい。毎日（7 日間）、24 時間お問い合わせに応じています。

Q１８．賠償責任について知りたいのですが？

EQ がどのように関わろうとも天災によって生じたいかなる被害（人命及び住宅設備等）の責任（賠償金等）を〇〇社は一切負うものではない。それは天災に遭遇した気象庁や地震予知委員会等の政府機関の予知機能の責任が問われないことと同様です。

（参考）PL 法に基づく PL 保険金制度によると戦争、動乱、労働争議による紛争、地震、洪水、津波などに起因する事故には保険金は支払われない。

Q１９．保証はどうなっていますか？

製造者に原因があると証拠だてられた場合、1 年以内は製品の交換ができます。
6 ヶ月以内の返品も保証されます。但し、製品の取り扱い時に起きる予想し得ない損傷や不公正なサービスの要求は免責されます。また、製品の輸送費用は消費者のご負担です。

Q２０．保証書はありますか？

登録済み保証書が製品についています。ご購入後 10 日以内に必要事項をご記入の上、必ずご返送下さい。なお、テストリビューターが直接販売する場合には、その場でお買い上げの消費者の方に記入をお願いすることがあります。

Q２１．製品の寿命はどのくらいですか？

不可抗力による損壊や事故（落下など）やプラスチックの老化等にいたらなければ長期間使用できます。EQ は常に新しいバージョンを追求しますから、もっと機能的にすぐれたもの、もっと簡便なもの等に将来スイッチしていただけると幸いです。

Q２２．EQ は直下型地震に対応できますか？

いかなる地震計も加速度測定器も警報は遅れます。神戸の直下型地震の再現テストでは EQ はわずかに 0.3 秒しか猶予がありません。しかし震源からお宅が 20km ほど離れていれば、EQ は 3 秒前に警報を出すことができます。
とっさの判断に生かしてください。
3 秒間で机の下に入る訓練や家具周辺から離れる訓練などができると有効です。

Q２３．EQ は実用上の試験をしていますか？

ニューヨーク州立大学地震研究所で①宮城県沖（1978 年）阪神淡路大震災（1995 年）などの実際に発生した地震の記録を使った試験と②起震機を用いた人口震動の実験をしています。EQ はいずれの試験でも正確な反応をして精度の高さが証明されています。

実例：メキシコ大地震では猶予（初動が計測された時と大きな揺れが来た時の時間差＝Warning Time 警告時間）は 35 秒あった。直下型地震の典型である神戸では猶予は 0 と示された。大きな被害が出た 2006 年ジャワ中部地震もほぼ同じ型と推測されます。

Q２４．地震以外のノイズの影響についてテストされていますか？

イスラエルの地理物理学研究所などで地震以外の振動に対する反応のテストを実施した。①ハイウェイの車道の路肩で数時間数千台の車の振動にもトリガー(計測作動)しなかった。②線路から 3m のところに固定。約 4 時間 10 台の列車の振動にもトリガーしない。

③大型トラックの傍や 0.5～1m の至近距離でのハンマーの音などのテストでもトリガーしない。④重量物の落下、強いドアの開閉、30 ㎝離れた場所からの電磁放射、20 ワット出力ラウドスピーカーにもトリガー（計測作動）はしなかった。

これらの試験と同時に地震の波動に対する反応をテストしたが、地震波には正確にトリガーした。

Q２５．どのくらい地震がありますか？

日本では年間約 3000 回の地震があります。災害が起きやすい震度 5 弱以上が 10 回前後、震度 4 が 40 回程度、震度 1～3 が毎日どこかで 4～5 回（90%がこういう地震）起きています。日本列島には 4 つの巨大プレート(岩盤)がひしめいて地震を発生させています。

Q２６．巨大地震はくるのでしょうか？

文科省の地震調査委員会の調査によると発生確率が高い活断層(直下型地震が多い)が全国で 24 箇所、海溝型(大型地震が多い)は 17 箇所あります。いつ起きるかわかりませんが必ず地震は起こります。地震災害から身を守るために EQ の活用をお勧めします。